



# しいのみつうしん

第9号

## 咳喘息にご用心！

いよいよ冬。寒い季節の到来ですね。この時期になってくるとかぜがはやってきます。かぜは治ったと思っても咳だけが続くときがあります。そこで、今回は数週間も咳が止まらない咳喘息について取り上げました。

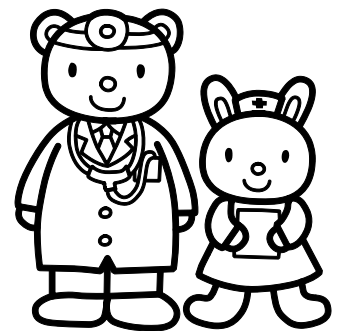
### 咳喘息とは？

→咳喘息とは、ゼーゼー、ヒューヒューや呼吸音がなく、慢性に咳だけが続く病気です。咳喘息は正式な喘息ではありませんが、喘息の前の段階と考えられています。

原因はよくわかっていませんが、最近、非常に増えている病気で、多くはかぜに続いて起こります。かぜの後に2週間以上続いたら、この病気を考える必要があります。

### I) 咳喘息の特徴

- ①. ほかに原因となる病気がないのにいつまでも咳だけが続く。
- ②. 咳は数ヶ月から、ひどい場合は1年以上続くことがある。
- ③. かぜの後に起こることが多い。
- ④. ゼーゼーやヒューヒューや呼吸困難はない。
- ⑤. ほとんど痰はでない。
- ⑥. 咳は夜間から明け方にかけてでることが多い。
- ⑦. 冷たい空気やタバコの空気を吸うと咳込みやすい。
- ⑧. かぜ薬や咳止めを飲んでも効かない。



### II) 治療

→風邪薬、抗生物質、咳止めは効果がありません。

気管支拡張薬、吸入ステロイド薬、抗アレルギー薬が有効ですが、確実な効果があるのは**吸入ステロイド薬**です。

- ・ **気管支拡張薬**：気管支を広げて呼吸を楽にする薬です。この薬には、内服薬、貼付薬、吸入薬、坐薬、注射薬があり、発作時にも予防目的にも使います。
- ・ **吸入ステロイド薬**：気道の炎症を抑えることで呼吸を楽にする薬です。この薬は、吸入するので全身にステロイドが回らず、ステロイドによる副作用の心配がまずないため、一番使いやすい薬です。なお、発作時に使っても効果はありません。
- ・ **経口ステロイド薬**：全身性のステロイド薬のことで、非常に効果はありますが、

使用量や使用期間によって全身的な副作用が起こる可能性があるため、その使用は最小限にとどめることが大事だとされています。

- ・ **抗アレルギー薬**：アレルギー反応を起こすものを減らし、穏やかな抗炎症作用を示すことで呼吸を楽にする薬です。この薬には内服薬、吸入薬があり、吸入ステロイド薬とともに予防として使用され、小児喘息では吸入ステロイド薬よりも優先して使われることもあります。

咳喘息は気管支拡張薬が有効なことが特徴ですが、気管支拡張薬で軽減しても消失する患者さんは少なく、吸入ステロイド薬を必要とする場合があります。

気管支拡張薬、吸入ステロイド薬でも効果が上がらない場合、抗アレルギー薬を使用することもあります。

咳喘息で症状のひどい場合、短期間に限って経口ステロイド薬を使用する場合がありますが、ほとんどの場合、吸入ステロイド薬で改善が見られます。（咳喘息で長期にわたって経口ステロイド薬を使用することはありません）  
お医者さんとよく相談して、使う薬、使い方を決める必要があります。

### Ⅲ) 経過

- 多くは治療によって治りますが、一部で非常に治りにくい場合があります。適切な治療をしないと**喘息に移行**（約30%）することもあります。また、咳が治まり、自分の判断で治療をやめると再発をくり返すこともあるので、お医者さんの指示に従って根気よく治療しましょう。

### Ⅳ) 診断が難しい咳喘息

- 咳喘息は最近多くなってきた病気ですが、その診断は大変難しく、特有な所見がないために治療によって診断するケースが多いというのが現状のようです。すなわち、痰を伴わない咳（乾性咳）が数週間以上続き、気管支拡張薬または吸入ステロイド薬で効果があれば、まず咳喘息と診断されています。なお、痰を伴わない咳が続く以外に、喘鳴があったり、呼吸困難があれば咳喘息ではなく、喘息と考えられています。

- **咳喘息は珍しい病気ですが、かかると治るのに時間のかかる病気です。**
- **咳が長く続くなど思い当たることがあるときには、すぐに医療機関にかかりましょう。**

しいのみ薬局 関市上白金 105-1	☎0575-27-0130	Fax 0575-27-0131
しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27	☎058-241-1818	Fax058-241-1839
華陽しいのみ薬局 岐阜市祈年町 1-19-2	☎058-271-1640	Fax058-275-1949